

資産運用の読み物



経済・投資のあんちよこ

VOL.9

企業の決算って、何に注目したらいいの？

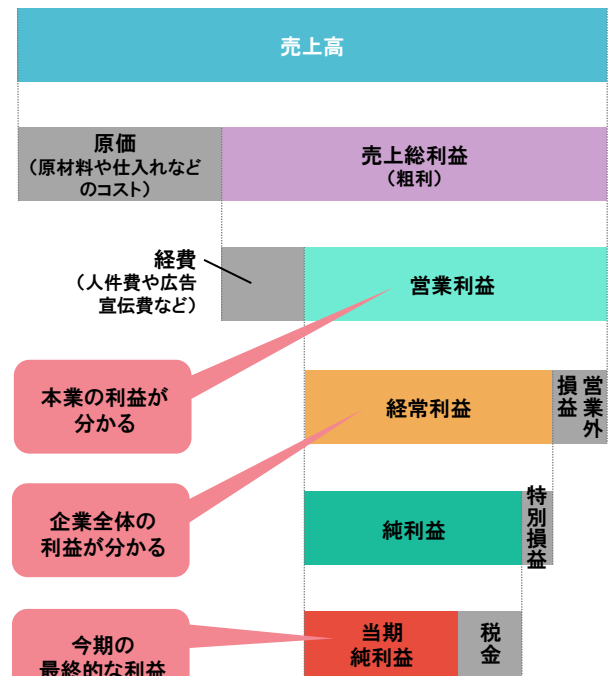
今回の話題

9月は多くの日本企業にとって、中間決算の季節です。最近、日本企業の好決算を伝えるニュースも多くなりました。ところで企業の決算を見る場合、どこをチェックしたらいいのでしょうか？ あらためて押さえておきましょう。

損益計算書の「3つの利益」がポイント

- 決算とは、一定期間の企業の業績を公表することです。多くの日本企業は9月に中間決算、3月に本決算を行います。注目したいのは、一年間の企業の損益を示した損益計算書(P/L)、いわば企業の成績表です。
- 損益計算書の中でも重要なのは、「営業利益」「経常利益」「当期純利益」の3つの利益です。「営業利益」は、売上高から原価を引いた売上総利益からさらに人件費や広告宣伝費といった経費を引いたもので、本業の利益です。「経常利益」は、営業利益に為替差損や利息など営業外の損益を加算したもので、企業全体の利益のことです。そして経常利益から土地の売買など臨時に発生した損益を計上し、税金を引いたものが「当期純利益」です。
- なかでも経常利益が増益だった場合、好決算と判断され、株価が上昇する傾向があります。また当期純利益が増えると株主の配当も増え、株を買う人が増えるという好循環が期待できます。

企業の損益の内訳



* 営業外利益 < 営業外損失かつ特別利益 < 特別損失という場合。
* 上記はイメージ図です。

Point

損益計算書の「営業利益」「経常利益」「当期純利益」で、会社が好決算かどうか判断できます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。